

剪 定

「一果入魂」こだわりを持った生産管理に努めよう

◎密植園は間伐を優先して行ないましょう。

密植園では陽光があまり入らず防除もしづらくなりますので、そのような園地では優先的に縮伐・間伐を行いましょう。

- ・樹勢の弱っている樹（落葉、枝枯れ）

4月になって春芽が発芽した後に軽めの間引きせん定、枯れ枝の除去を行いましょう。

- ・樹勢のしっかりした樹（3月上旬に実施）

表年の樹 間引き主体に切り返しを入れてやや強めのせん定。太枝の間引き、樹高の単縮、内向枝の整理、側枝の短縮、下垂枝の切り上げ、予備枝の設定と夏秋梢の整理が主なポイント。（除葉率 20%）

裏年の樹 軽めのせん定。かぶさり枝や下垂枝を切除だけでも十分に効果がある。（除葉率 10%）

春肥の施用

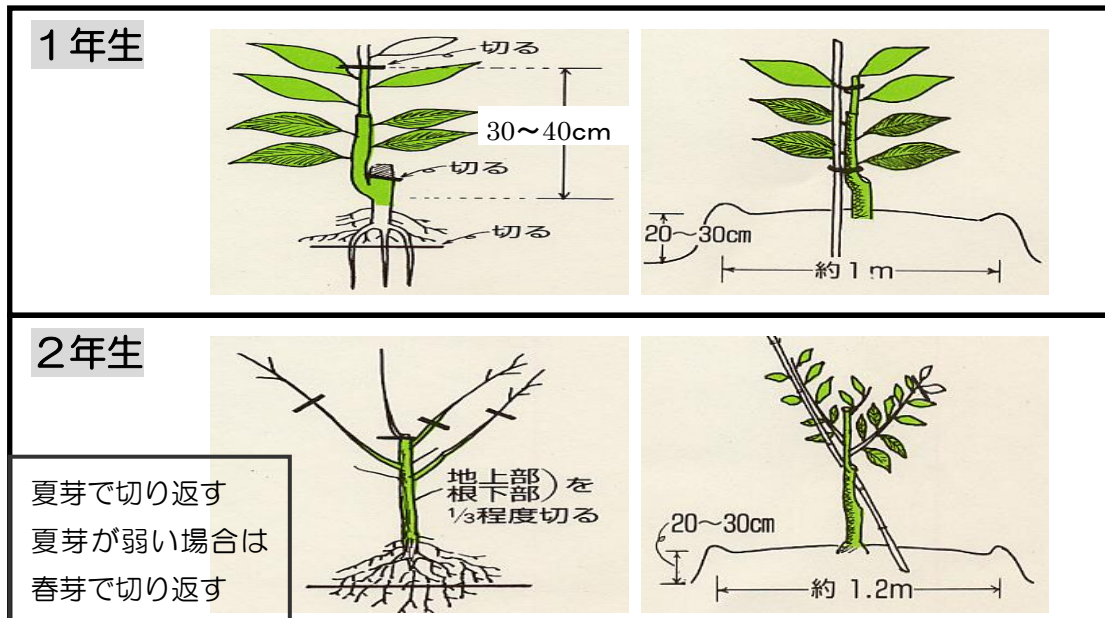
● 春肥は開花、結実、果実肥大に必要な養分を供給します。基準量を適期に施しましょう。

品種	施肥時期	柑橘 1 号	柑橘 5 号
極早生	3 月下旬	4 袋	5 袋
早生温州		5 袋	6 袋

品種	施肥時期	柑橘 1 号	柑橘 5 号
中生・普通	3 月下旬	5 袋	7 袋
高糖系		6 袋	8 袋
中晩柑		6 袋	8 袋

植え付け手順

- ① 植え穴には完熟堆肥30kg、ヨウリン300～500g、サンライム1.2～2kgを入れ土と混ぜ合わせましょう
- ② 3月中旬～4月上旬に植え付けをおこないましょう
 - ・根はよくひろげ、土になじませて植えましょう
 - ・根を活着させ生育を旺盛にする為に必ず支柱を立てましょう
- ③ 植え付け後は十分に灌水しましょう



病虫害防除

時期	病虫害	防除薬剤
3月上旬	ミカンハダニ	アタックオイル 60倍（樹勢の弱っている樹は控える）
3月中旬	かいよう病	ICボルドー66D 25倍～40倍（発芽前）

注1：アタックオイルの散布は冬期に散布していない園が対象です

注2：ICボルドーの散布は、アタックオイルの散布後14日程度は間隔をあけて散布して下さい。

注3：かいよう病多発園は、5月下旬にICボルドー66D 80倍+アピオンE 1,000倍を散布。

春草の除草

地温の上昇にともない春草の生育が活発になります。

草と樹の養分競合を防ぐため早めに春草の除草をおこなひましょう

使用薬剤	適用雑草名	10a当たり使用量	
		薬量	希釈水量（通常）
ラウンドアップマックスロード（吸収移行型）	1年生雑草	200ml～500ml	50～100ℓ
	多年生雑草	500ml～1,000ml	
サンフーロン液剤（吸収移行型）	1年生雑草	250ml～500ml	50～100ℓ
	多年生雑草	500ml～1,000ml	
バスタ液剤（接触型）	1年生雑草	300ml～500ml	100～150ℓ
	多年生雑草	500ml～1,000ml	

※ラウンドアップの少量散布（5ℓ/10a）は専用のラウンドノズルULV5を（25～50ℓ/10a）はラウンドノズルLV25を使用して散布。

落葉果樹

《ウメの管理》

作業	時期	内容
春肥の施用	3月上旬	柑橘有機配合1号（8・6・4） 2袋/10a
灰色かび病 アブラムシ防除	3月下旬	ストロビードライフフロアブル2,000倍 ダントツ水溶剤4,000倍

野菜

《タマネギの管理》

作業	内容
べと病防除	春先の気温が高いと「べと病の発生」が危ぐされますので雨の前にジマンダイセン水和剤400倍を散布しましょう。（ネオエステリン5,000倍を添加） 3月中旬以降はリドミルゴールドMZ1,000倍を散布しましょう。
除草	雑草が多いと養分競合を起し、極端に肥大が悪くなりますので除草しましょう